

運用実績

基準価額

13,342円

前月末比

+531円

純資産総額

306.98億円

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

ファンド設定日：2024年2月28日

基準価額等の推移



※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。

※税引前分配金再投資基準価額は、本ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

※当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。

資産構成

ファンド	比率
SBI欧州高配当株式マザーファンド	100.0%
現金等	0.0%

マザーファンド	比率
外国株式	95.0%
現金等	5.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

期間収益率

設定来	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
47.48%	4.14%	11.79%	20.67%	38.95%	-	-

※期間収益率は、本ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

収益分配金（税引前）推移

決算期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	設定来累計
決算日	2024/12/20	2025/3/21	2025/6/20	2025/9/22	2025/12/22	
分配金	140円	155円	160円	170円	170円	1,095円

※収益分配金は1万口当たりの金額です。

※分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

マザーファンドの状況 1

株式組入比率 94.97%

配当利回り 4.38%

※マザーファンドの株式評価額の合計額に対する比率で加重平均しています。

組入上位30銘柄

組入銘柄数：100

	銘柄名	国・地域	業種	比率	配当利回り
1	RECKITT BENCKISER GR	イギリス	家庭用品・パーソナル用品	4.39%	3.52%
2	VAR ENERGI ASA	ノルウェー	エネルギー	4.17%	14.01%
3	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.11%	0.62%
4	ENEL SPA	イタリア	公益事業	2.20%	5.21%
5	BANK OF IRELAND GROU	アイルランド	銀行	2.10%	3.09%
6	BAWAG GROUP AG	オーストリア	銀行	2.06%	4.00%
7	SIEMENS ENERGY AG	ドイツ	資本財	2.05%	0.48%
8	SIEMENS AG-REG	ドイツ	資本財	2.03%	2.09%
9	ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	銀行	1.90%	2.74%
10	INTESA SANPAOLO	イタリア	銀行	1.88%	5.98%
11	BARRY CALLEBAUT AG-R	スイス	食品・飲料・タバコ	1.86%	2.14%
12	SNAM SPA	イタリア	公益事業	1.77%	5.09%
13	UNICREDIT SPA	イタリア	銀行	1.76%	3.95%
14	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.72%	3.05%
15	ROCHE HOLDING AG-GEN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.67%	2.79%
16	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.63%	1.80%
17	REPSOL SA	スペイン	エネルギー	1.58%	3.02%
18	ING GROEP NV	オランダ	銀行	1.52%	5.07%
19	ENGIE	フランス	公益事業	1.41%	5.90%
20	BRITISH AMERICAN TOB	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.36%	5.49%
21	NATIONAL GRID PLC	イギリス	公益事業	1.33%	3.83%
22	CAIXABANK SA	スペイン	銀行	1.30%	4.07%
23	ANGLO AMERICAN PLC	イギリス	素材	1.27%	0.70%
24	POSTE ITALIANE SPA	イタリア	保険	1.26%	5.18%
25	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	1.25%	4.15%
26	KBC GROUP NV	ベルギー	銀行	1.23%	3.49%
27	TOTALENERGIES SE	フランス	エネルギー	1.22%	5.56%
28	BNP PARIBAS	フランス	銀行	1.18%	5.47%
29	SWEDBANK AB - A SHAR	スウェーデン	銀行	1.17%	5.90%
30	TELEFONICA SA	スペイン	電気通信サービス	1.16%	8.78%

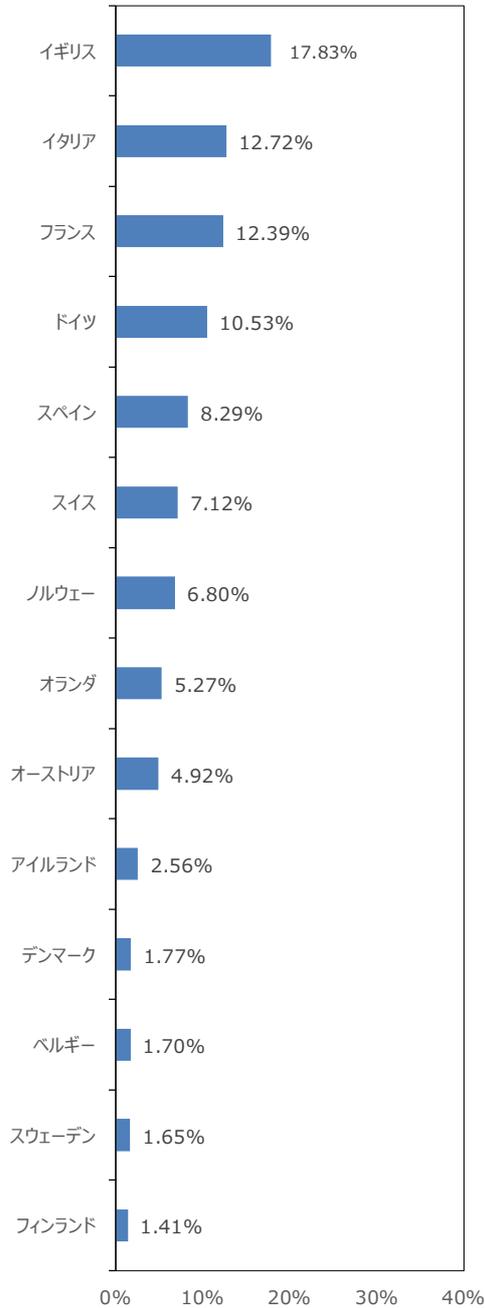
※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※事業紹介は本ファンドのご理解を深めていただくために作成したものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

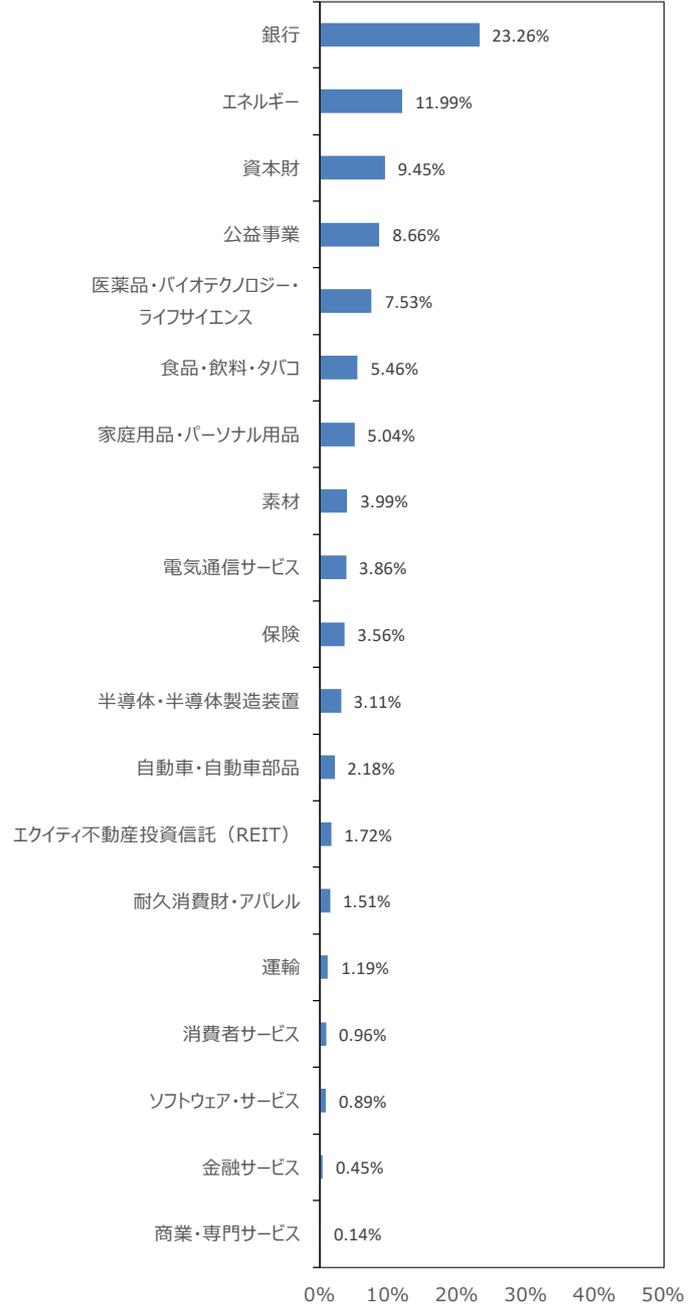
※LSEG等のデータを基に当社作成

マザーファンドの状況 2

組入上位国・地域



業種別比率



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

当月の市場動向及びファンドの運用状況

当月の市場動向

1月の欧州株式市場は、STOXX Europe 600指数で見て+3.2%となりました。STOXX Europe 600指数に加えて、英FTSE100、ドイツDAX、仏CAC40、スイスSMI、スペインIBEX35、スウェーデンOMXストックホルム30などの国別指数も史上最高値を更新しました。米雇用統計が米利下げ観測を支援する内容であったこと、ユーロ圏のインフレ鈍化が示されたことなどがプラス材料でした。米トランプ政権がデンマーク自治領グリーンランド領有を主張した件が懸念材料でしたが、月末にかけて態度を軟化させました。

主要国別では、良好な企業決算、景気堅調への期待などからオランダ、スウェーデン、ベルギー、などが比較的堅調でした。一方、相対的にドイツ、フランスなどが軟調でした。セクターでは、業績期待に、情報技術、エネルギー、などが堅調でした。一方、一般消費財サービス、必需品、などが軟調でした。

ファンドの運用状況

引き続き増収期待などからASMLホールディングス、受注拡大への期待にシーメンス・エナジー、金属価格の値上がりなどからアングロ・アメリカンなどが、パフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、AIによる需要減への懸念からSAP、業績不振や売上減少への懸念からLVMHやステラニシス、などがマイナスに寄与しました。

当月、セクターでは、業績動向、配当水準等勘案して、金融のウェイトを減らしました。生活必需品、エネルギーなどを増やしました。国別では、スペイン、フランスなどを減らしました。一方、英国、ノルウェーなどを増やしました。

※コメント内に記載の企業は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

今後の見通しと運用方針

トランプ政権の「相互関税」は、最初の提示に比べて引き下げられるケースが多く、「解放の日」当時と比べると市場の反応は小さくなっており、景気、企業業績、金利等の要因とともに相場の材料として定番化しております。ただし、自由な国際貿易市場に変化が見られましたので、今後、貿易にとどまらず国際的な資本移動、国際通貨価値、国際協調と言った分野への波及に留意しております。目下、関税について、市場の関心は、関税コストが最終消費者（米国民）へどの程度転嫁されるかに移っております。経済面で、米国のインフレ上昇、消費低下などによる景気悪化・後退、米国の関税引き上げの対象となる国々の景気減速・後退等の間接的な影響も懸念されております。関税引き上げによる影響は、企業の関税引き上げ分の価格転嫁、売上の変化等個別要因が大きく、企業の業績見通し発表を織り込むプロセスが続くと考えられます。貿易以外の分野への間接的な影響も、具体的な影響度を測るには時間を要すると考えられます。「相互関税」、欧州中央銀行（ECB）の金融政策動向、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策動向も相互関税の影響を見極めながら進められると予想されますので、不確実性、複雑性が高まり、先行き見通しの不透明感が長期にわたり継続する可能性が高まった状況が続いております。依然として、ウクライナ情勢、欧州連合（EU）主要国の財政支出拡大、中国の景気動向なども材料として注目されております。また、地政学リスクもトランプ政権の行動を受け高まっております。こうした様々な材料を注視してまいりたいと考えております。トランプ政権の関税措置を巡る訴訟や米中関係の緊張なども注目されており、注視しております。金融緩和基調のなか、投資家資金は大型ハイテク株とAI関連を中心としたテーマ株を志向しております。引き続き動向に注意したいと考えます。

私どもは、引き続き、欧州の高配当利回りの組入を中心として、GRANOLAS[※]など成長性の高い、増配が期待される銘柄なども投資し、インカムゲイン（分配）の獲得に加えて株価上昇（成長）も獲得したいと考えております。

※GRANOLAS

欧州株式市場の上昇の牽引役と目される、高く安定した成長性、強固な財務基盤、良好な配当利回りなどを特徴とする11企業。GlaxoSmithKline(医薬品、イギリス)、Roche Holding AG (医薬品、スイス)、ASML Holding NV (半導体製造装置、オランダ)、Nestle SA(食品、スイス)、Novartis AG(医薬品、スイス)、Novo Nordisk A/S(医薬品、デンマーク)、L'Oreal S.A. (化粧品、フランス)、LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SA (高級品、フランス)、AstraZeneca PLC (医薬品、イギリス)、SAP SE (ソフトウェア、ドイツ)、Sanofi (医薬品、フランス)、を指します。

愛称：SBI欧州シリーズー欧州高配当株式（分配）

追加型投信／海外／株式

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

主な変動要因

株価変動リスク	一般に株価は政治・経済情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、組入れる株式の価格が変動し、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
為替変動リスク	為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	組入れる金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被る可能性があります。また、金融商品等の取引相手方にデフォルト（債務不履行）が生じた場合等、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
流動性リスク	組入れる金融商品等の市場規模が小さく取引量が限られる場合などには、機動的に売買できない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券の貸付取引等を行う場合には、取引先リスク（取引の相手方（レンディング・エージェントを含みます。）の倒産等により契約が不履行になる等）が生じる場合があります。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れ有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。流動性リスクの管理においては、委託会社が規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

愛称：SBI欧州シリーズー欧州高配当株式（分配）

追加型投信／海外／株式

お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降のお支払いとなります。
購入・換金申込受付不可日	以下のいずれかに該当する場合は、原則として購入・換金のお申込みの受付を行いません。 英国の銀行または証券取引所の休業日、フランクフルト証券取引所の休業日、ユーロネクスト・パリの休業日、スイスの銀行または証券取引所の休業日、スウェーデンの銀行または証券取引所の休業日、12月24日の日本における前営業日および前々営業日、委託会社が定める日
申込締切時間	原則として、午後3時までとします。なお、受付時間を過ぎてからの申込みは翌営業日の受付分として取扱います。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金（解約）の申込の受付を中止すること及び既に受付けた購入・換金（解約）の申込の受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限（設定日：2024年2月28日（水））
繰上償還	次の場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。 ・信託財産の純資産総額が10億円を下回るようになった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき ・その他やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則として、毎年3月、6月、9月ならびに12月の各20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年4回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家に確認されることをお勧めします。

愛称：SBI欧州シリーズー欧州高配当株式（分配）

追加型投信／海外／株式

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	<p>ファンドの日々の純資産総額に年0.099%（税抜：0.090%）を乗じて得た額とします。信託報酬は毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。</p> <p>信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率</p> <p>（有価証券の貸付の指図を行った場合）</p> <p>有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取ります。</p> <p>この場合、ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の55.0%（税抜50.0%）以内の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。</p> <p>※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。</p>
その他の費用 及び手数料	<p>信託財産にかかる監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用、法定書類（目論見書、運用報告書等）の作成・印刷・交付にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管に要する費用等の費用は、原則として受益者の負担とし、信託財産中から支払われます。なお、これらの費用は、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。</p>

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	SBIアセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）
販売会社	※最終頁をご参照ください。（受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。）

愛称：SBI欧州シリーズー欧州高配当株式（分配）

追加型投信／海外／株式

販売会社一覧

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会					
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本STO協会	
株式会社SBI証券 ^{※1}	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券 ^{※2}	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第8号	○	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○	○			
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品 取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○			
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業 者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○				

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

※1 株式会社SBI証券は上記協会のほか、日本商品先物取引協会および一般社団法人日本暗号資産等取引業協会にも加入しております。

※2 株式会社SBIネオトレード証券は上記協会のほか、日本商品先物取引協会にも加入しております。

本資料のご留意点

○本資料は、SBIアセットマネジメントが作成した販売用資料で、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○当ファンドをお申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。